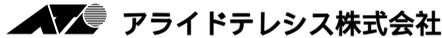


リリースノート

CentreCOM® 3734TX



このたびは、CentreCOM 3734TXをご購入いただき、まことにありがとうございました。
この文書には、「CentreCOM 3734TX ユーザーマニュアル」の補足説明など、最新の製品情報が記載されています。ご使用前に、必ずこの文書をお読みください。

ファームウェアダウンロード時の注意点

バージョン 2.22未満のファームウェアから、バージョン 2.22以降のダウンロードを行う場合には、以下の点にご注意ください。

20文字のログインパスワードを設定している場合には、19文字以内のパスワードに設定変更してからファームウェアのダウンロードを行ってください。変更を行わずにダウンロードを行った場合、パスワードが無効となりログインできなくなります。

本リリースノート「 ログインパスワードについて」

一部のパラメータが正しく継承されないためダウンロード後は必ず、init-nvramコマンドを実行して初期化を行ってください。

(init-nvramコマンドは、NVRAMに保存されているすべての設定値をクリアし、工場出荷時設定に戻します。)

ユーザーマニュアル3-14ページ

ログインパスワードについて ユーザーマニュアル3-11ページ

Version2.22以降とVersion2.22未満のファームウェアでは、パスワードの最大文字数が異なりますのでご注意ください。

ソフトウェアのバージョンは、sys-statコマンドで確認することができます。

FW Version 2.22未満 : 20文字以内

FW Version 2.22以降 : 19文字以内

前面SNMP LEDとMGMT LEDの表示について ユーザーマニュアル1-7ページ

Version2.21以降とVersion2.21未満のファームウェアでは、本体前面のSNMP LEDの表示が異なりますのでご注意ください。

ソフトウェアのバージョンは、sys-statコマンドで確認することができます。

FW Version 2.21未満 : 未サポートのため、常時点灯

FW Version 2.21以降 : SNMPマネージャからのポーリング中のみ点滅、その他の場合は消灯(telnet、trapを含む)

本製品はVLANの設定において2種類のポート・グルーピング方式をサポートしています。

- 「セキュリティVLAN」によるグルーピング
- 「バーチャル・ブロードキャストドメイン」によるグルーピング

各仕様を以下に示しますので、内容をご確認の上ご使用ください。

特に、バーチャル・ブロードキャストドメインを設定する際は、ネットワーク環境によって障害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

セキュリティーVLANの仕様

セキュリティーVLANは、設定したVLAN内の全てのパケットに対してフィルタリングが有効です。隣接する2つのポートを1グループとしたポートグループa-1があらかじめ定義されており、このポートグループがセキュリティーVLANを構成する最小単位となっています。

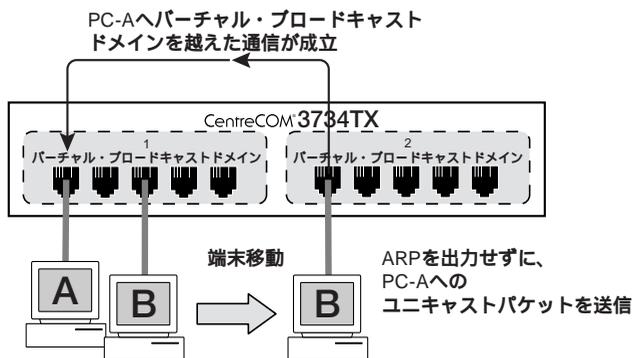
バーチャル・ブロードキャストドメインの仕様

バーチャル・ブロードキャストドメインは1ポート単位で組み合わせを設定することができます。ただし、1つのバーチャル・ブロードキャストドメインを構成するには2ポート以上の組み合わせが必要です。

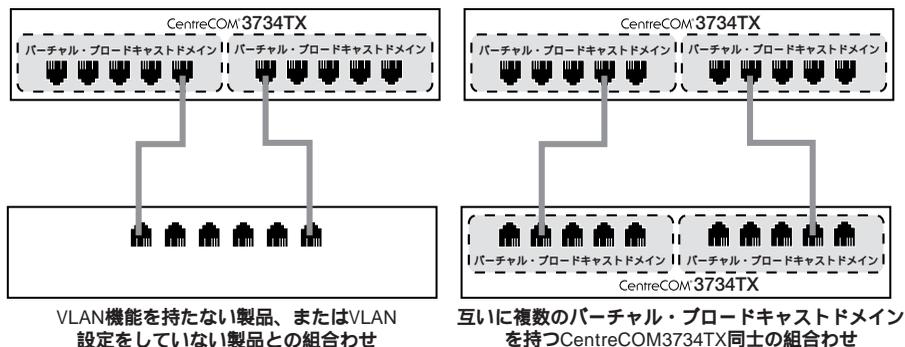
また、バーチャル・ブロードキャストドメイン内でフィルタリング可能なパケットは、マルチキャストパケットとブロードキャストパケットのみとなっておりますので、設定の際は次の点にご確認ください。

ARPパケットを出力しない一部ホスト系のネットワーク機器を接続した場合、異なるバーチャル・ブロードキャストドメインへパケットが転送されることがあります。

バーチャル・ブロードキャストドメイン1からバーチャル・ブロードキャストドメイン2へPC-Bを移動後、PC-BのARPテーブルをクリアせず、PC-Aへの通信を行った場合、バーチャル・ブロードキャストドメインを越えてパケットが送信されます。



下記のような構成で、本体に登録されていない端末(アドレス)にむけたユニキャストパケットがネットワーク上に発生した場合、このユニキャストパケットによって無限ループが発生します。



スパンニングツリー機能について ユーザーマニュアル3-58ページ

スパンニングツリーを使用する場合は、VLAN(バーチャル・ブロードキャストドメイン/セキュリティVLAN)を工場出荷時の設定にしてください。

登録した複数のVLANごとにスパンニングツリーを設定することはできませんのでご注意ください。

get-port-cfgの説明について ユーザーマニュアル3-49ページ

get-port-cfg(ポート設定コマンド)のLAN_TYPEの説明に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

get-port-cfg

LAN_TYPE		ETH10	10Mbps固定に設定されています。
		ETH100	100Mbps固定に設定されています。
		ETH10/100	10/100Mbps自動認識に設定されています。
		ETH10	10BASE-Tポートです。
		ETH10/100	100BASE-TX/10BASE-T自動認識ポートです。
		ETH100X	100BASE-FXポートです。

MACアドレスのスタティック・エントリー機能について ユーザーマニュアル3-35ページ

add-1t-entryコマンドで任意のポートに対してMACアドレスをスタティック・エントリーした後、異なるポートより同一MACアドレスによるダイナミック・エントリーが発生した場合、後者のダイナミック・エントリーが優先されます。

ダイナミック・エントリー発生後、再度スタティック・エントリーを行なった場合は、次のダイナミック・エントリー発生までスタティック・エントリーが優先されます。

